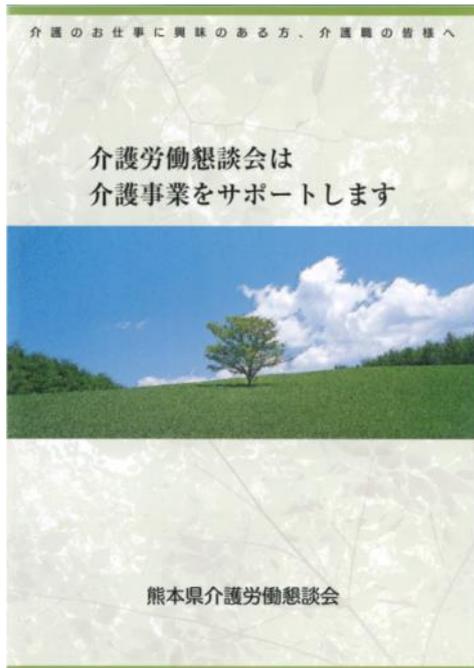


# 介護労働懇談会の取組好事例 (熊本支部)

## 紹介パンフレット&メンバーサイトTOPページ



## 取組好事例 (懇談会での課題と意見交換)

●テーマ ①人材確保等 ②労働環境・雇用管理等 ③業種特有の問題点等

●参加機関 懇談会構成団体

●参加関係団体等から出された介護労働の現状に対する主な意見

- ①中山間地や農山村での深刻な人材不足。介護人材体系の見直しが必要。人材確保しやすい都市部中心の施策ではなく、山間部等への対策の必要性。
- ②専門職の育成が必要であるが、働きながら資格を取得するのが難しい現況。資格取得のハードルだけが上がってきている状況。限られた制度の中で少しでも好循環に転化するための、改善点とは何か？
- ③ネガティブイメージが強いがポジティブイメージアップは業界に必要である。熊本県と連携して介護福祉士のイメージアップへの取組み。

●今後の課題と取組み

機関同士が連携することにより、熊本県全体が抱えている課題が見えてきた。山間部での深刻な人材不足や介護業界のイメージアップへの取組、資格取得のために何が必要か。『介護助手(アシスタント)』や外国人労働者の活用、有資格者の再入職のための掘り起しなどの人材確保のための取組。介護福祉士会の実施したポジティブアンケートからの介護職の新しいイメージづくりなど。懇談会参加機関に、熊本県における介護事業所の現状の理解と課題解決の為の連携の必要性を再確認することができた。

